

財務諸表のデータ形式を柔軟化（CSV形式） <国税庁が勘定科目コードを公表>

【概要】

財務諸表について現状のデータ形式（XBRL形式）に加え、CSV形式による提出を可能とする（国税庁が勘定科目コードを策定・公表し、それを含めた標準フォームを提供）。

※ 「財務諸表の提出先の一元化」と同時期に実施。

改正前

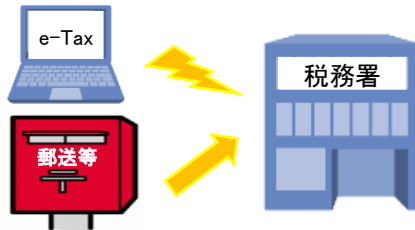
作成した財務諸表をXBRL形式に変換するための調整作業が煩雑(例えば、使用するソフトウェアに適合するように勘定科目の順番や名称を変更する等の作業が必要)であり、財務諸表を書面で提出しているケースがある。

○ 法人が作成した損益計算書

<法人使用の勘定科目>		<e-Tax上の勘定科目>	
東京支店売上高	300,000	→	フランチャイズ売上高
大阪支店売上高	200,000	→	フランチャイズ売上高
その他売上高	100,000	→	賃貸収入
売上高合計	600,000	600,000	
期首商品棚卸高	50,000		
当期商品仕入高	100,000		
合計	150,000		
期末商品棚卸高	50,000	100,000	
売上総利益		500,000	

別表1(1)等

財務諸表



改正後

CSV形式による提出を可能とすることにより、財務諸表をデータ変換するための調整作業が軽減

<Excelでの作成イメージ>

法人使用勘定科目	国税庁が提供する勘定科目コード	金額
売掛金	A100003	100000
子会社売掛金	A100004	200000
工場	A100005	2000000

CSV化(※)

※ CSVデータ作成用の標準フォーム(Excel)を提供予定(勘定科目コードも含んだもの)。

企業開示において標準的に使用されている勘定科目(約6,400)ごとに国税庁が勘定科目コードを策定・公表する。
民間ベンダーに対しては、ソフトウェアの開発に際し、この勘定科目コードも採用するよう要請。

XMLデータ + CSVデータ

別表1(1)等

財務諸表の
CSVデータ

e-Taxソフト等に
取込み

